

あすなろ応援便



●日頃の活動内容

生活必需品・消耗品・整理棚・着替えなどを広く募集し、東日本大震災で被災された現地の方々へ届けています。

また、現地での生の声を聞き、必要な道具物資を出来る範囲でご用意して届けています。

●被災地支援を始めたきっかけ

阪神・淡路大震災により被災した経験を持つ弊社社員から、その時の支援活動に感謝した話を聞き、今回は微力ながらも支援する側に立たなければと思った次第です。

私たちはこんな活動をしています

●東日本大震災・被災者の方々への物資の手配

昨年3月11日に起こった、東日本大震災による被害を受け、翌月4月より月1度現地へ赴き、インターネットでの募集・呼びかけによりお届け頂いた物資の配送・現地での配布をしています。また、現地に在住されている方々と電話・メールでの連絡・打ち合わせをすることで、ご提供を申し出ていただいた物資をより良い形でお使い頂けるよう、届けています。



活動をして良かったこと

現地の人達の笑顔と感謝の言葉を頂いた事です。

被災者からの声を聞きながらの活動・・・

- 配布時における、他地区の状態及び現状を生のお声として伺い、活動の原動力とするとともに次回の物資の種類・数量・必要性を考え、方向性を具体的にしています。出来るだけ無駄を少なく、より大きな成果を挙げるべく、日々各方面との連絡は絶やさない様にしています。
- 求めてはいない感謝の言葉を頂き、必要とされている事に嬉しく思います。

今後の活動について

復興が出来たと感じる時まで続けたいのですが、負担も多く現状では不明です。

1年経った今でも、まだまだ物資を必要とされている場所も多く復興と言うには程遠いのが現状です。皆様には物資のご提供と共に、活動資金となる支援金のカンパもお願い出来ればと思っています。

詳しくはこちら

ホームページ

<http://higashinippon.net>

代表者ブログ

<http://yokkaexp.exblog.jp>



カウンセリングオフィス優



2012年4月 仮設住宅での講演の様子

被災地での活動内容

これまで、被災地では

・**カウンセリング**

・**心理テスト**

・**心理学の講座**

などを行って来ました。

活動の成果

心理テストや講演では、自分でも気づけなかった自分の心の問題、ストレスとの付き合い方、コミュニケーションのコツなど、楽しく学んでいただけました。



2012年3月 仮設住宅での心理テストの様子

● 日頃のオフィスの活動

日頃は四日市市内に事務所を設け、「カウンセリング」「心理カウンセラー養成講座」「各種の心理学セミナー」などを行っています。

● 支援活動を始めたきっかけ

活動を始めたこれといったきっかけはなく、震災があり、何かしなければと思い、私たちに何ができるのかと手探りで活動を続け、今に至ります。

● 活動の感想と今後の活動

被災地で活動を行うと、「悩みを打ち明けられる人がいない」「みんな大変だから、弱音ははけない」「被災後、家族の仲が。。。」など、心の悩みを抱える方はとても多くいらっしゃることも、また、これらの問題がまだ全くなくなっていないことを感じます。これからも、これまでの活動を続けながら、現地で話を聞ける人を増やすために、「傾聴」などの簡単なカウンセラーのスキルの訓練なども行っていきます。



オフィス優

Main office 四日市市西浜田町1-7
Counseling room 四日市市伊坂台二丁目13

TEL / FAX 059-355-0539
Mail y.five.leaf.clover@za.ztv.ne.jp
<http://www.za.ztv.ne.jp/y.five.leaf.clover/>



四日市市消防職員協議会



私たちはこんな活動をしています

- ・全国消防職員協議会を通じての復興支援活動
- ・義援金と子ども用玩具の送付支援
- ・被災地でのボランティア活動（瓦礫の撤去等）
- ・被災地（宮城県）の消防職員を招いての学習会
- ・チーム四日市での活動を通じて、各種団体への会員派遣

●日頃の活動内容

職場環境及び勤務条件等の改善を図りながら、職員間の良好なコミュニケーションを形成していくに取り組んでいます。

- 被災地支援を始めたきっかけ
社会貢献活動の一環として。



気仙沼の消防士を招いて実施した学集会風景

活動をして良かったこと

これまで我々の団体は、労働組合的な活動が主であったが、被災地支援という社会貢献活動を通じて、会員間の連帯感が強固となった。



東日本から四日市へ移住されている家族を招いて実施されたクリスマスイベント（12月18日：三重の輪主催：ロワジールホテル）では、消防職員がサンタになって、子供たちにプレゼントを手渡しました。

今後の活動について

「想っているだけでは何も伝わらない、行動することに意義がある！」をモットーに被災地支援に対して真摯に取り組んでいきます。

忘れない！3・11
風化させんな！
東日本大震災



防災一座



日頃の活動内容

三泗地区を中心に市民の防災意識の向上や地域の防災啓発のための各種講座やイベントなどを開催しています。

今回の東日本大震災のような災害時には被災地へ赴き、現地のニーズ把握とともにそれに応じたコーディネート、支援活動を実施しています。

『三重の輪』と一緒に市内へ避難者の交流イベントを開催！ BBQ&ロープウェイ（菟野町）



・『久しぶりに思いっきり外で遊ぶことができている嬉しい！』と子どもや親御さんの笑顔を見ることができました。

メリノール女子学院聖歌隊とともにクリスマスコンサートを開催。仮設住宅、施設での交流、物資を届ける活動をしてきました。

（仙台市、石巻市、女川町の仮設住宅、施設）

私たちはこんな活動をしています

- ・三泗地区を中心に防災啓発のための各種講座やイベントを開催。
- ・岩手県、宮城県での仮設住宅、避難所などでの復興支援活動。
- ・台風12号の被害による東紀州地域での復興支援活動。
- ・市内避難者への交流の場の提供のお手伝いや住居などの生活相談など。

女川町第一中学校のバレー部へユニフォームをお届けしました！（女川町）



・3年生にとっては、最後の試合ということもあり、部員で御揃いのユニフォームで出場できたことを大変喜んでもらえました。

- ・“上を向いて歩こう”“ふるさと”を歌うと笑顔で喜んでいる人、涙を流しながら聞いていただく方もみえました。
- ・現地の人たちが温かく迎えてくれて反対に勇気や元気をいただきました。
- ・『来てくれてありがとう』『元気ができました』『娘のようで交流が楽しかった』とのお手紙をいただきとても嬉しかったです。
- ・今後、自分達に何ができるのか考える良い機会になりました。



子ども向け防災教室を開催



炊き出し & 支援物資の提供（女川町）



熊野神社例大祭（女川町）



今後の活動について

- ・今後も地域の防災意識の向上、防災啓発活動をしていきます。
- ・現地のみなさんやこちらに避難されているみなさんに寄り添い、一緒に歩いていきたいと思ひます。

四日市東日本大震災支援の会



四日市大学の学生を中心に、県内の高校生・大学生・一般市民とともに活動する、災害ボランティア派遣を展開する団体です！

★活動報告は代表鬼頭の研究室 HP まで！

鬼頭研究室

検索



すべては、2011.3.11 から…

宮城県東松島市に最初の災害派遣

2011年5月に第1回派遣、以後7月まで継続的に活動
ガレキ撤去・ドロかき作業が中心の災害ボランティア
合計5回の派遣で、延べ9日240名が活動

宮城・岩手に調査・調整派遣

2011年8月・2012年2月

被災者の生活実態を知るとともに、
本会活動のためのニーズ調査と現地調整を行う目的で派遣

台風12号災害復旧活動

2011年9・10月三重県紀宝町に2回の派遣

ドロかき and 避難所の支援活動

そして2012年… 今後の活動



生活復興期の活動

第10回派遣(3月)：三重県の6つの学校と宮城県の4つの学校による交流ワークショップ and ボランティア

第11回派遣(4月)：四日市市 and 四日市東日本大震災支援の会の共催派遣

第12回(6月)・13回(8月)派遣：四日市大学 and 四日市看護医療大学共同企画

足湯マッサージ・お茶会・子ども工作教室など仮設住宅でのコミュニティ形成のための交流イベントを開催
活動して良かったこと

- ・ 何度か訪問するうちに現地の人とも関係ができ、声をかけてもらえるようになりました。今後も自分にできる活動を精一杯続けていきたいです。
- ・ 被災者の方は、常に笑顔で明るく迎え入れてくれて反対に勇気や元気をいただきます。
- ・ 『来てくれてありがとう』『楽しかった』との声をいただきました。今後は、心や体のケアもできるように活動していきたいです。

ボランティア活動は自己負担が原則ですが、本会の東北復興のための継続的な活動には、皆様からの暖かい支援金が使われています。学生達は、その支援に常に感謝しつつ、皆様方の意志を受け、ともに現地で活動している気持ちを忘れないようにしています！

★今までにいただいた支援金（活動にかかった費用のうち約35%が支援金など外部資金で賄われています）

- ・ チーム四日市(四日市市社会福祉協議会主催)助成金
- ・ 中央共同募金会：赤い羽根災害ボランティア助成事業
- ・ 四日市大学
- ・ 地域での講演活動等でいただいた支援金
- ・ 参加学校が独自に集めた支援金

その他、たくさんの個人様・団体様より活動のための支援金をいただきました。ありがとうございました!!



NPOコスモス



日頃の活動内容

主に、介護美容。

介護施設、在宅介護（自宅）、障害者施設、福祉施設、医療施設などの利用者みなさまにヘアカット及び地域に密着したサービスを行う団体です。その他のサービス内容については無料レクリエーションをしています。

飲食の店舗展開もやっています。

被災地支援を始めたきっかけ

普段は、主に介護施設の『ヘアカット』をしているので被災地の美容師さんとともに『ヘアカット』のサービスが出来ると思って始めたのがきっかけです。

私たちはこんな活動をしています

- ・避難場所、仮設住宅にてカットボランティア。
- ・被災地の美容師さん達が活躍できる場をつくり、地域住民の方とつながっていけるような仕組みづくり。
- ・被災地から材料を仕入れ、飲食店を展開することで、被災地での雇用促進へ貢献。また、売上げの一部を被災地へ寄付。

H23.5月～計6回 カットボランティア（宮崎県石巻、七ヶ浜）



H24.4月 焼き鳥店「さとうちゃん」をOPEN

（四日市市諏訪栄町）



●活動をして良かったこと

- ・『勇気づけられた』『ありがとう』『前向きなれた』という言葉や手紙をいただき、活動した仲間同士で感動しました。
- ・『私、べっぴんしゃんになったでしょう！』っと喜んで披露してくれたお母さんもみえました。
- ・『遠くからありがとう』と笑顔を見せてくれたり、時には涙を流す人も・・・こちらが反対にパワーをもらって帰ってきました。
- ・現地に行き、本当の意味で協力し合って生きていくことの大切さ、元気や笑顔をいただきました。

今後の活動について

- ・仮設住宅での野菜などの食料支援及び被災地の美容師さんによるカットボランティアの技術指導及びお手伝い。
- ・介護施設のカットサービスのメニューが不足している声があるので、コスモスがやっている介護美容のサービスを被災地の介護施設に提供できるように活動をしていきたい。





「三重の輪」は、もあはぴ、国際支援NGOあいなどの団体と『私たちにできること』を愛言葉に東日本大震災の復興支援の役に立ちたいという思いの個人が有志で集まった市民団体です。

活動内容

東日本大震災や原発事故の影響で四日市を中心に、三重県内に避難されてきたご家族を対象とした食事会・交流会・保養などの企画・運営

支援を始めたきっかけ

私たち、サラリーマンや主婦では、なかなか被災地に行けて応援ができないので、こちらに避難して来られている方を応援しよう！というのがきっかけ。

これまでの活動



H23.8.13 BBQ 交流会 (菰野町) H23.12.18 クリスマス交流会(町ゾーナル) H24.4.7 お花見交流会 (海蔵川)



その他、交流会の様子はブログにて

参加者の声

- ・くじけそうになることは多々ありますがこうしてたくさんの方に支えられていることを実感して、また前向きに進んでいけそうです。(Sさん)
- ・震災後、こんなに楽しい事はありませんでした。四日市に来て、良かった。皆さんに会えて良かった。また、頑張ろうと思いました。(Mさん)
- ・素敵な会場、演出、美味しいお料理 皆さんの温かい気持ちが伝わってきて、リセット、リフレッシュした!! まだまだ頑張れそうです、頑張ります!!(Nさん)

今後の活動について

長引く原発事故の影響によって、まだまだ避難して来られる方もあると思います。夏休みなどの長期休暇を利用しての疎開もあると思います。避難者の気持ちが少しでも和らぐように、住みよい三重県とさせていただけるように今後もいろんな企画を組んでいきます。

詳しい活動内容はこちら

『もあはぴ』ブログ <http://ameblo.jp/morehappyclub>

